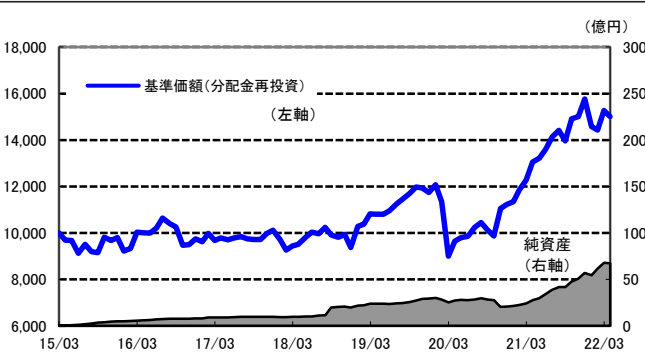


運用実績と基準価額変動の要因分解

2022年4月28日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10000として指数化:月次)



上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 14,983 円

※分配金控除後

純資産総額 67.2億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-1.7%
3カ月	2.9%
6カ月	0.6%
1年	14.9%
3年	38.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 50.0%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2021年12月	5 円
2020年12月	5 円
2019年12月	5 円
2018年12月	0 円
2017年12月	0 円

設定来累計 15 円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解

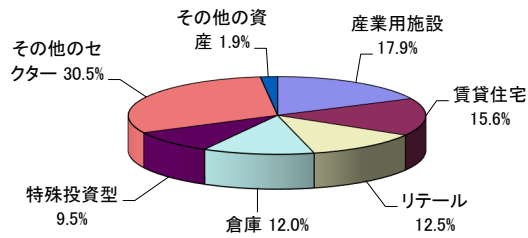
	2022年2月	2022年3月	2022年4月	直近3ヶ月累計
基準価額騰落額(分配金込み)	-149 円	833 円	-262 円	422 円
為替ヘッジコスト等	-3 円	-7 円	-15 円	-25 円
REIT要因	キャピタル	790 円	-260 円	375 円
	インカム	20 円	61 円	24 円
その他(信託報酬等)	-11 円	-10 円	-11 円	-32 円

左記の要因分解は、委託会社が算出したものであり、直近3カ月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。

セクター別配分及び国・地域別配分

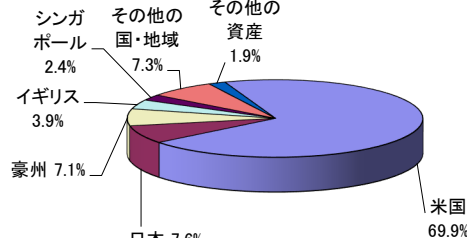
2022年4月28日 現在

<セクター別配分>



セクターとは、REIT(リート)の投資不動産の中で、特定分野として区分できる種別をいいます。(出所:S&P社、CBRE社)

<国・地域別配分>



国・地域別配分は原則発行国・地域で区分しております。

REIT組入・特性値

2022年4月28日 現在

REIT組入比率	98.1%
配当利回り	3.2%
組入銘柄数	71 銘柄

組入比率は、マザーファンドのREIT組入比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

配当利回りは、毎月末算出される配当金等(実績ベースを基本)をもとに、組入比率を掛けたものを年率で表示したものです。配当金等は、税金等を控除していません。従って、実際にファンドが受け取ることができる金額とは異なります。(出所:CBRE社)

組入上位10銘柄

2022年4月28日 現在

	銘柄	国・地域	セクター	純資産比
1	プロロジス	米国	産業用施設	7.8%
2	エクイニクス	米国	特殊投資型	4.5%
3	サイモン・プロパティ・グループ	米国	ショッピング・モール	4.1%
4	ライフ・ストレージ	米国	倉庫	3.8%
5	リアルティ・インカム	米国	リテール	3.7%
6	キューブスマート	米国	倉庫	3.5%
7	エクストラ・スペース・ストレージ	米国	倉庫	2.8%
8	インベーション・ホームズ	米国	賃貸住宅	2.8%
9	アパロンベイ・コミュニティーズ	米国	賃貸住宅	2.8%
10	サン・コミュニティーズ	米国	賃貸住宅	2.7%
	合計			38.4%

国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

純資産比は、マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

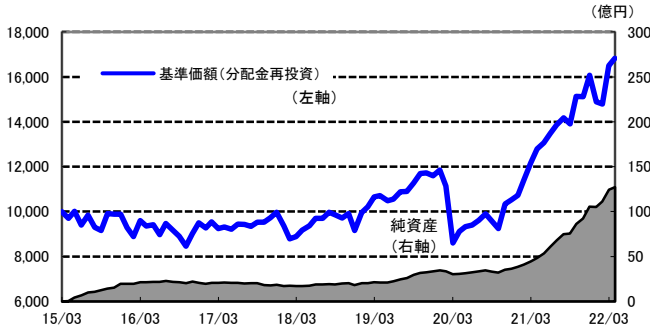
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

運用実績と基準価額変動の要因分解

2022年4月28日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 16,802円

※分配金控除後

純資産総額 127.3億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.0%
3ヵ月	13.0%
6ヵ月	11.2%
1年	31.4%
3年	57.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 68.2%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2021年12月	5円
2020年12月	5円
2019年12月	5円
2018年12月	0円
2017年12月	0円

設定来累計 15円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解

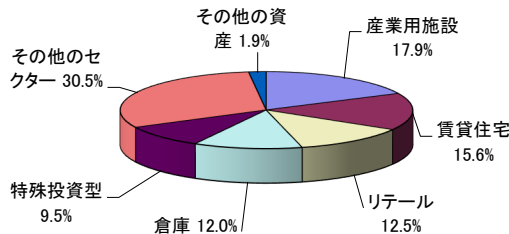
	2022年2月	2022年3月	2022年4月	直近3ヶ月累計
基準価額騰落額(分配金込み)	-96円	1,705円	329円	1,938円
為替要因	46円	836円	640円	1,522円
REIT要因	キャピタル	817円	-325円	342円
	インカム	20円	63円	26円
その他(信託報酬等)	-11円	-11円	-12円	-33円

・左記の要因分解は、委託会社が算出したものであり、直近3ヶ月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示していません。

セクター別配分及び国・地域別配分

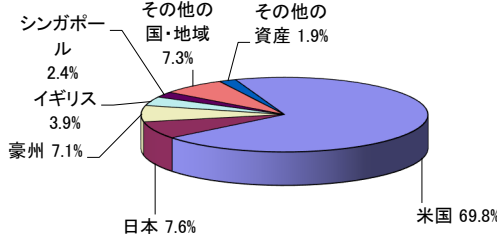
2022年4月28日 現在

<セクター別配分>



・セクターとは、REIT(リート)の投資不動産の中で、特定分野として区分できる種別をいいます。(出所:S&P社、CBRE社)

<国・地域別配分>



・国・地域別配分は原則発行国・地域で区分してあります。

REIT組入・特性値

2022年4月28日 現在

REIT組入比率	98.1%
配当利回り	3.2%
組入銘柄数	71銘柄

・組入比率は、マザーファンドのREIT組入比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・配当利回りは、毎月末算出される配当金等(実績ベースを基本)をもとに、組入比率を掛けたものを年率で表示したものです。配当金等は、税金等を控除していません。従って、実際にファンドが受け取ることができる金額とは異なります。(出所:CBRE社)

組入上位10銘柄

2022年4月28日 現在

銘柄	国・地域	セクター	純資産比
1 プロロジス	米国	産業用施設	7.8%
2 エクイニクス	米国	特殊投資型	4.5%
3 サイモン・プロパティ・グループ	米国	ショッピング・モール	4.1%
4 ライフ・ストレージ	米国	倉庫	3.8%
5 リアルティ・インカム	米国	リテール	3.7%
6 キューブスマート	米国	倉庫	3.5%
7 エクストラ・スペース・ストレージ	米国	倉庫	2.8%
8 インビテーション・ホームズ	米国	賃貸住宅	2.8%
9 アパロンベイ・コミュニティーズ	米国	賃貸住宅	2.8%
10 サン・コミュニティーズ	米国	賃貸住宅	2.7%
合計			38.4%

・国・地域は原則発行国・地域で区分してあります。

・純資産比は、マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。))。で、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。  
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

各ファンドは、REIT(不動産投資信託証券)等を実質的な投資対象としますので、組入REITの価格下落や、組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.869%(税抜年0.79%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 * ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。
その他の費用 ・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社  
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社  
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

<世界リート市場>

国・地域別では、米国はFRB(米連邦準備制度理事会)の理事が資産圧縮を「5月にも急ピッチで始める」と発言するなど、金融引き締め姿勢の強まりに対する懸念が広がったことなどから、下落しました。欧州は、ECB(欧州中央銀行)がインフレ抑制のために金融緩和の正常化を前倒しするとの思惑が広がったことや、EU(欧州連合)がロシア軍のウクライナへの軍事侵攻に対する追加制裁措置としてロシア産石炭の輸入停止を含む制裁案を公表したことによる地政学的リスクの高まりも意識され、下落しました。豪州は、RBA(豪州準備銀行)による利上げの可能性が高まったことなどから下落しました。日本は、米長期金利が上昇し利回りの面でREITの相対的な投資妙味が後退したとの見方や、国内株式市場が軟調となり投資家心理が悪化したことなどを背景に、下落しました。

為替は、ドル・円レートは、物価上昇に対応しFRBが金融引き締め姿勢を強める一方、日銀が緩和的な金融政策を維持したことなどを背景に日米の金利差が拡大し、月間ではドル高・円安となりました。一方、ユーロ・円レートは、ロシアによる天然ガスの供給停止を受けて地政学的なリスクなどが強く意識され、月間ではユーロ安・円高となりました。



期間:2004年9月末～2022年4月末。REIT指数:S&P先進国REIT指数(配当込み・円換算)、2004年9月末を100として指数化。為替:対顧客電売買相場(仲値)、単位は円。出所:S&P、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメントが作成。 ※S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

(1)国・地域別配分

豪州、日本や香港などをオーバーウェイト(参考指数に比べ高めの投資比率)としています。豪州は、相対的に高い配当利回り、健全な財務体質、成長力がある銘柄に着目しています。賃貸住宅やリテールセクターなどの銘柄に投資をしました。日本は、中規模のオフィスや産業用施設セクターの銘柄に投資をしました。香港は、キャッシュフロー(現金収支)が安定している銘柄などに投資をしました。一方、欧州各国は新型コロナウイルスのまん延やロシアによるウクライナ侵攻などを受けて経済の先行き不透明感などから、アンダーウェイト(参考指数に比べ低めの投資比率)としました。

(2)セクター配分(物件のタイプ)

倉庫セクターなどをオーバーウェイトとしています。倉庫セクターは、足元の業績が市場予想を上回っている銘柄などに着目いたしました。一方、ヘルスケアセクターなどをアンダーウェイトとしています。ヘルスケアセクターでは、高齢者住宅を運営する物件を多く保有するリートは、新型コロナウイルスのまん延の影響から投資リスクが高いと考えています。

今後の運用方針(2022年4月28日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

CBREインベストメントマネジメント社では、2022年のリート各社の利益成長率について前年比約10%程度の上昇を見込んでおり、リート市場の見通しは概ね良好と考えています。足元では、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染拡大などを受けた経済の先行き不透明感や、各国の長期金利の上昇などの懸念はあるものの、不動産市場のファンダメンタルズ(基礎的條件)は改善してきており、リート各社の利益成長に結びつくと考えています。また、4月に大手投資会社によるリート買収の報道があり、今後もM&A(企業の合併・買収)が増加すると期待され、リート市場にとっては追い風になると思われます。

そのような投資環境の中で、リーートのクオリティを重視した投資戦略を継続していきます。ファンダメンタルズが良好な地域において、実績のある経営陣、明確な経営方針、健全な財務、優れた資金調達力、保有物件の競争力等の観点から、質の高い銘柄に焦点を当てて投資していきます。内部成長、外部成長の両面からキャッシュフローを成長させることができるリートを選別します。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# 野村世界REITファンド Aコース／Bコース(野村SMA・EW向け)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。